令和６年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

（１学年）

１単位時間の時間（５０）分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	序章「人間と社会～学習の視点～」を考える	・教科書を用いて、この科目の目的を理解し、学習方法、進め方を学ぶ。 ・キャリアパスポートに、高校生活の目標を記す。	「知識・技能」 ①他者との対話を通し、自らの問いと社会的課題との関連を見いだし、探究の意義や価値を理解している。 ②他教科で習得した知識や技能を活用している。 「思考・判断・表現」 ①課題設定に応じた方法で資料を収集し、適切に整理・分類している。 ②課題設定の理由や意義について適切な情報を用いて、効果的に表現している。 「主体的に取り組む態度」 ①他者の見方・考え方を尊重し互いの得意とする分野を生かそうとしている。 ②これまでの学習で獲得した知識や概念を積極的に活用しようとしている。 各観点をA，B，Cの３段階にて評価し、総合してA，B，Cの３段階にて評価を行う。	１時間
	7・8・9	14 章 「自然と人間の関わり」 ○事前学習 ●体験活動 「田んぼの除草」 ○事後学習 13 章「地域社会を築く」 ○事前学習 ●体験活動 「地域ボランティア」 ○事後学習 ４章「働くことの意義」 ○事前学習① 事前学習② ●体験活動 「ジョブキャンプ」 ○事後学習	○教科書、ワークシートを用いて、地域の自然保護（田んぼの除草）の意義を学び体験を通して明らかにしたい自身の課題を設定する。 ●近隣の里山民家にある田んぼの除草作業を行うことで、自然との共生や生命の尊重、地域貢献活動の重要性について学ぶ。 ○体験を通して明らかになったことについて意見交換する。 ○教科書、ワークシートを用いて、地域社会との関わりの意義について学ぶ。 ・他者との対話を通して、自身の良さや得意なことを知り、強みを活かせる活動を選択する。 ●次の中から２時間以上選択する ①武蔵村山第五中学校学習サポート（２時間×２） ②武蔵村山第十小学校夏祭り手伝い（２時間） ③武蔵村山第八小学校学習サポート（２時間×２） ④武蔵村山第十小学校ラジオ体操　（３０分×４） ⑤武蔵村山市花火大会準備（４時間） ⑥武蔵村山市内夏祭り支援（２時間） ○振り返り、自分の強みを活かせたか、異年齢集団とコミュニケーションをとることができたか検証する ○①教科書やワークシートを用いて、自身の特性や興味・関心の傾向を知る。 ②ジョブキャンプ主催者の講演やワークシート、ビジネスマナー実践等から、職場体験の目的と自身の課題を明らかにして、体験先を選択する。 ●職場体験（３時間×２） ○教科書やワークシートを用いて、体験により明らかになったことや、今後の進路を考える上で必要な行動を考え、意見交換する。		１時間 ２時間 １時間 １時間 １時間 ２～４時間 １時間 ２時間 ３時間 ６時間 ２時間
2	10	12 章「支え合う社会」 講義「自助と共助」	・教科書、ワークシートを用いて、自助・共助・公助ついて学ぶ。 ・消防署職員の講演を聞き、災害時の行動について学び、意見交換を行う。		３時間
	11	14 章「自然と人間の関わり」 ○事前学習 ●体験活動 「稲刈り」 ○事後学習	○教科書、ワークシートを用いて、地域の自然保護（稲刈り）の意義を学び、体験を通して明らかにしたい自身の課題を設定する。 ●近隣の里山民家にある田んぼにて稲刈りを行う。 ○体験を通して明らかになったことについて意見交換する。		１時間 ２時間 １時間
	12・1・2	13 章「地域社会を築く」 協議「武蔵村山市の市政に参画する」	・武蔵村山市都市計画課職員から、市の課題と将来の街づくり計画について話を聞く。 ・グループで武蔵村山市の課題を設定し、解決のために必要なことを考える（フィールドワーク） ・考えたことをまとめる。 ・グループごとに発表し、武蔵村山市へアイディアを提供する。		１時間 ２時間 ２時間
3	3	最終章「人間と社会～これからの生き方～」を考える	・教科書やキャリアパスポートを用いて１年間の学びを通してわかった、自分がすべきこと、できること、したいことをまとめ、次年度の目標をたてる。 ・まとめたこと、次年度の目標をクラスごとに発表し、発表を聞いたクラスメイトは励ましのメッセージを書いて、発表者へ贈る。		１時間 ２時間
配当時間数の合計					体験 12～14 時間 38～40 時間